

平成27年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省27-

別紙1

|   |   |      |                              |   |                    |         |      |      |      |   |  |
|---|---|------|------------------------------|---|--------------------|---------|------|------|------|---|--|
| 施策名                                     | 目標3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)  |      | 担当部局名                        | 環境管理技術室<br>水環境課<br>閉鎖性海域対策室<br>地下水・地盤環境室<br>海洋環境室   | 作成責任者名<br>(※記入は任意) |         |      |      |      |   |  |
| 施策の概要                                   | 水質汚濁に係る環境基準等の目標を設定して、その達成状況の改善を図るとともに、適切な地下水管理を推進し、健全な水循環の確保に向けた取組を推進する。また、海洋環境の保全に向けて国際的な連携の下、国内における廃棄物の海洋投棄の規制等による海洋汚染の防止を図る。 |      | 政策体系上の位置付け                   | 3. 大気・水・土壌環境等の保全  |                    |         |      |      |      |   |  |
| 達成すべき目標                                 | 水質汚濁に係る環境基準等達成率の向上等により、健全な水循環の確保を目指す。また、廃棄物の海洋投棄の規制等により、海洋環境の保全を図る。   |      | 目標設定の考え方・根拠                  | 環境基本法第16条に定める環境基準<br>湖沼水質保全特別措置法に基づく各指定湖沼の湖沼水質保全計画<br>水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく総量削減基本方針<br>海洋汚染防止法 | 政策評価実施予定時期         | 平成28年6月 |      |      |      |   |  |
| 測定指標                                    | 基準値   | 目標値  | 年度ごとの目標値<br>年度ごとの実績値         |   |                    |         |      |      |      | 測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠   |  |
|   | 基準年度  | 目標年度 | 24年度                         | 25年度  | 26年度               | 27年度    | 28年度 | 29年度 | 30年度 |   |  |
| 1 公共用水域における水質環境基準の達成率(健康項目)(%)          | -   | 100% | 100%                         | 100%  | 100%               | 100%    | 100% | 100% | 100% | 閉鎖性海域については、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく総量削減基本方針等のもと、各海域の水質改善の状況を的確に把握し、水質保全を図ってきたところであり、当該海域の水質環境基準達成率は、対策の効果を把握するのに適した数値であるため、測定指標として選定した。 |  |
| 2 公共用水域における水質環境基準の達成率(生活環境項目BOD/COD)(%) | -   | 100% | (河川)                         | 93.1%   | 92.0%              | 調査中     | /    | /    | /    | /   | 環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持されるものが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は人の健康の保護を図るうえで、水環境の状況を把握するものとしての確であるため、測定指標として選定したものの。 |
|   |   |      | (湖沼)                         | 55.3%   | 55.1%              | 調査中     | /    | /    | /    | /   |  |
|   |   |      | (海域)                         | 79.8%   | 77.3%              | 調査中     | /    | /    | /    | /   |  |
|   |   |      | 【全体】                         | 88.6%   | 87.3%              | 調査中     | /    | /    | /    | /   |  |
| 3 地下水における水質環境基準の達成率(%)                  | -   | 100% | 100%                         | 100%  | 100%               | 100%    | 100% | 100% | 100% | 環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持されるものが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は人の健康の保護を図るうえで、地下水環境の状況を把握するものとしての確であるため、測定指標として選定したものの。      |  |
| 4 閉鎖性海域における水質環境基準の達成率(COD、全窒素、全りん)等     | -   | -    | 「別紙のとおり」                     |   |                    |         |      |      |      | 環境基本法第16条に基づく環境基準は、「人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持されるものが望ましい基準」として定められたものであり、その達成率は人の健康の保護を図るうえで、水環境の状況を把握するものとしての確であるため、測定指標として選定したものの。        |  |
| 測定指標                                    | 基準  | 目標   | 施策の進捗状況(目標)<br>施策の進捗状況(実績)   |   |                    |         |      |      |      | 測定指標の選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠  |  |
|   | 基準年度  | 目標年度 | 24年度                         | 25年度  | 26年度               | 27年度    | 28年度 | 29年度 | 30年度 |   |  |
| 3                                       |   |      |                              |   | /                  | /       | /    | /    | /    |   |  |
| 測定指標                                    | 目標  | 目標年度 | 測定指標の選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠 |   |                    |         |      |      |      |   |  |

| 4 陸上で発生した廃棄物の海洋投入処分量(万t)                           | 180以下        | —            | 平成19年4月より海洋投入処分の許可制度を導入し、廃棄物の海洋投入処分は国際条約によって原則禁止になったことを踏まえ、海洋投入処分量を増加させないために、平成22年度の海洋投入処分実績の近似値を目標値とした。また、本数値が少ないことが、海洋環境保全に資するものであり、海洋環境保全の状況を把握するのに適した数値であるため、測定指標として選定した。 |       |            |  |                           |
|--|--------------|--------------|---|-------|------------|--|---------------------------|
| 達成手段<br>(開始年度)                                     | 予算額計(執行額)    |              |   | 当初予算額 | 関連する<br>指標 | 達成手段の概要等   | 平成27年<br>行政事業レビュー<br>事業番号 |
|  | 24年度         | 25年度         | 26年度  | 27年度  |            |  |                           |
| (4) 水質環境基準検討費<br>(平成24年度)                          | 186<br>(143) | 170<br>(146) | 142<br>(127)  | 129   | 2.3        | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境基準項目等の追加・基準値の見直し及び水域類型当てはめを行うための情報収集・検討を行う。</li> <li>適切な科学的判断に基づき、必要な環境基準等の設定及び見直し、類型の適切な当てはめ及び見直しを行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境基準項目等の追加・基準値の見直し及び水域類型当てはめを行うための情報収集・検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質汚濁に係る環境基準等の目標設定に寄与する。</li> </ul>  | 116                       |
| (5) 排水対策推進費<br>(平成23年度組替)                          | 79<br>(73)   | 83<br>(79)   | 68<br>(51)  | 68    | 1.2,3      | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質汚濁防止施策の執行状況やその効果を把握するための調査(公共用水域における水質環境基準の達成状況等)を行う。</li> <li>現在排水規制の対象となっていない項目等への規制の必要性を検討するための排水実態等の調査を行う。</li> <li>暫定排水基準の撤廃・強化に向けた排水処理技術の開発・普及を行う。</li> <li>生物応答を用いた新たな排水管理の方策についての調査を行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場及び事業場から公共用水域に排出される水の排出を適切に規制するために必要な調査・検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場及び事業場から公共用水域に排出される水の排出を適切に規制するために必要な調査・検討を行い、排水基準等の達成状況の改善を図ることに寄与する。</li> </ul> | 117                       |
| (6) 水質関連情報利用基盤整備費<br>(平成23年度組替)                    | 17<br>(17)   | 17<br>(17)   | 17<br>(18)  | 42    | 3.4        | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「水質監視業務関連システム」、「水質環境総合管理情報システム」及び「全国水生生物調査システム」について、システムの効率的な一括運営(保守・管理、更新)を行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水環境関連情報の提供・更新等(公共用水域水質データ、水浴場水質データなど)を行う。</li> <li>システムの一部更改を行う。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムを用いて効率的に常時監視結果の収集を行うとともに、広く国民に水環境関連情報をわかりやすく発信することにより、水環境保全施策の推進に寄与する。</li> </ul>   | 118                       |
| (7) 総量削減及び閉鎖性海域管理推進費<br>(昭和53年度)                   | 52<br>(49)   | 96<br>(77)   | 102<br>(95)   | 105   | 1          | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発生源別汚濁負荷量等の状況を経年的に把握し、水質総量削減等の対策の効果を確認</li> <li>さらなる取組の推進と第8次総量削減制度の在り方の検討</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発生負荷量の把握及び水質改善に関する実態調査の実施</li> <li>将来水質予測及び汚濁負荷削減対策等を検討実施</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発生負荷量と水質改善状況を経年的に把握し、これをもとに水質総量削減の目標や達成方策を検討し、着実に推進を図ることにより、閉鎖性海域の水環境改善に寄与する。</li> </ul>  | 119                       |
| (8) 閉鎖性海域環境保全推進等調査費(有明海・八代海総合調査評価委員会経費を含む)(平成19年度) | 124<br>(119) | 128<br>(114) | 137<br>(128)  | 132   | 1          | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有明海・八代海等総合調査評価委員会における検討に資するための環境再生に向けた各種調査の実施</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有明海・八代海等における環境基準等達成率の向上</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境悪化の原因・再生方策を調査により把握し、環境基準達成率の向上を効率的・効果的に達成すべき方法を提示することで、閉鎖性海域の水質改善に寄与する。</li> </ul>   | 120                       |

|      |                               |              |              |              |     |   |   |     |
|------|-------------------------------|--------------|--------------|--------------|-----|---|---|-----|
| (9)  | 豊かさを実感できる海の再生事業<br>(平成22年度)   | 65<br>(58)   | 42<br>(52)   | 20<br>(22)   | 70  | 1 | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海域ごとの実情を踏まえた「きれいで豊かな海」の確保に向けた方策の検討</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藻場・干潟等の分布状況の把握</li> <li>・底質・底生生物調査、栄養塩類の底質からの溶出量の推定手法の検討、海域ごとの実情に応じた海域管理の検討</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養塩類の実態把握や藻場・干潟等の拡大により生物多様性・生物生産性の確保された「きれいで豊かな海」の実現に資する。</li> </ul>  | 121 |
| (10) | 湖沼環境対策等推進費<br>(平成23年度組替)      | 90<br>(77)   | 51<br>(33)   | 37<br>(32)   | 37  | 3 | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖沼の水質汚濁メカニズムを解明し、新基準に対応した効果的な水質保全対策の実施手法を検討する。</li> <li>・新たな基準や課題を踏まえた湖沼の水質保全制度の見直し検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新基準等に対応する水質保全対策の検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湖沼の特性及び汚濁原因に応じた、効果的な水質保全対策を検討することにより、湖沼の水質改善の推進に寄与する。</li> </ul>  | 122 |
| (11) | 水質・底質分析法検討費<br>(平成23年度組替)     | 32<br>(28)   | 32<br>(28)   | 26<br>(9)    | 25  | — | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに環境基準等に設定が予定されている物質について公定分析法等の検討・策定を行う。</li> <li>・先進的・効率的な分析法の検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準等の見直しに係る公定分析法の検討、国内外の分析技術の知見を収集し、現行公定法との比較調査により新たな分析手法の導入の検討を行う。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな環境基準項目に対応した先進的・効率的な分析方法を早急に確立し、より効果的な測定の体制を図り、効率的な水環境のモニタリングの実施や水環境の状況の的確な把握により、水環境保全施策の推進に寄与する。</li> </ul> | 123 |
| (16) | 地盤沈下等水管理推進費<br>(平成20年度)       | 18<br>(10)   | 20<br>(15)   | 16<br>(19)   | 16  | — | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水質測定結果、地盤沈下状況調査結果の取りまとめ</li> <li>・適正な地下水の保全と利用のための管理方策の検討</li> <li>・被災地の地盤沈下地域における地下水利用のあり方検討</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水・地盤環境管理手法の検討</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水流域全体の地下水・地盤環境情報を統合的に捉え、流域の地域特性を踏まえた地下水・地盤環境の管理手法の確立により、適正な地下水の利用と保全及び地盤沈下の防止に資する。</li> </ul>  | 127 |
| (17) | 国際的水環境改善活動推進等経費<br>(平成22年度組替) | 251<br>(236) | 175<br>(170) | 181<br>(173) | 126 | — | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の農村地域等に適した水環境管理技術の導入実証モデル事業、国際セミナー等を実施する。</li> <li>・水環境の悪化が顕著なアジア・モンスーン地域において、水環境管理に携わる関係者間の協力体制の構築、各国の政策課題分析や政策担当者の能力向上への支援を行う。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な水環境問題の改善の取組推進を行う。</li> </ul> <p>&lt;政策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境対策の最先進国である我が国が、経験と技術を多くの地域に最大限伝え、国際的な水環境問題を中心にその改善の取組を推進する。</li> </ul>                         | 128 |

|      |                                     |                |                |              |     |   |  |     |
|------|-------------------------------------|----------------|----------------|--------------|-----|---|--|-----|
| (18) | 海洋環境関連条約対応事業<br>(昭和61年度)            | 79<br>(76)     | 67<br>(69)     | 69<br>(67)   | 68  | 5 | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロンドン条約、マルポール条約やバラスト水管理条約等の遵守について適切に対処</li> <li>・国際的な動向を把握</li> <li>・海洋投入処分の許可制度の適正な施行</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の海洋投入処分量の削減等</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋環境保全関連条約に関する海外の動向、国内の状況等の情報を踏まえて廃棄物の海洋投入処分に係る在り方等を検討し、海洋投入処分量の削減を図り、もって海洋環境の保全に資する。</li> </ul>  | 129 |
| (19) | 海洋環境モニタリング推進事業<br>(平成10年度)          | 73<br>(66)     | 70<br>(61)     | 66<br>(64)   | 76  | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本周辺の海域において、測線及び測点地点を設定し、6～8年で一巡するように汚染物質等を調査</li> <li>・海洋汚染等防止法に基づき実施される「廃棄物の海洋投入処分」が行われた海域の汚染状況を調査</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果を国民に情報提供すること。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋環境における汚染物質の状況、海洋汚染等防止法に基づき実施される「廃棄物の海洋投入処分」が行われた海域の汚染状況、バックグラウンド数値の経年的変化を適切に把握することにより、廃棄物の海洋投入処分に係る規制の適切な実施、廃棄物の海洋投入処分に係る在り方の検討等我が国周辺海域における海洋環境保全対策の効果的な実施に資する。</li> </ul> | 130 |
| (20) | ロンドン議定書実施のための不発弾陸上処理事業<br>(平成19年度)  | 1139<br>(1139) | 1239<br>(1239) | 815<br>(814) | 955 | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に発見され、陸上自衛隊が安全化措置を実施した不発弾について、陸上自衛隊の所要の指導監督の下、平成26年度末までに民間事業者において処理</li> <li>※4年の国庫債務負担行為として事業を実施</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不発弾の陸上処理体制の整備・運用により、海洋投入処分による不発弾処理件数「0」とする。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不発弾について、引き続き適正に陸上での処理を行うことで、海洋投入処分量の削減に資する。</li> </ul>  | 131 |
| (21) | 漂流・漂着・海底ごみに係る削減方策総合検討事業<br>(平成19年度) | 78<br>(68)     | 79<br>(63)     | 84<br>(69)   | 438 | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漂流・漂着・海底ごみの実態把握</li> <li>・原因究明及び発生抑制対策について検討</li> <li>・都道府県等が実施する漂流・漂着・海底ごみの回収・処理や発生抑制対策等の取組に対して補助金を交付。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漂流・漂着・海底ごみ対策の総合的かつ効果的な推進</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漂流・漂着・海底ごみの実態把握、回収・処理の推進・原因究明及び発生抑制対策の実施等により、各地域において総合的かつ効果的な漂流・漂着・海底ごみ対策を推進する。</li> </ul>   | 132 |
| (23) | 我が国の優れた水処理技術の海外展開支援<br>(平成25年度組替)   | -              | -              | 79<br>(78)   | 86  | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募を通じて選定した民間事業者による実現可能性調査(FS)や現地実証試験を支援し、我が国水関連企業の有する優れた水処理技術の海外展開を促進・支援する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な水環境問題の改善の取組推進を行う。</li> </ul> <p>&lt;政策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国企業の海外進出を支援することにより国際的な水環境の保全に寄与する。</li> </ul>   | 134 |

|      |  |   |   |             |    |   |   |          |
|------|--|---|---|-------------|----|---|---|----------|
| (25) | 国連大学拠出金(低炭素型水環境改善システム研究事業)<br>(平成26年度) | - | - | 90<br>(90)  | 90 | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの異なる発展段階にある数カ国の都市とその周辺地域を選定し、汚濁負荷、土地利用予測、人口動態、都市計画・政策等の情報を収集・解析し、政策を検討した上で、それらの導入・整備による水質保全及び低炭素化に係る効果を評価する。また、対象地域ごとに、気候変動対策に係る資金調達の可能性を含め水環境改善のための戦略をまとめ、関係者に提案するとともに、都市における水環境改善のためのデータ整備・政策評価手法をとりまとめる。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集・分析を踏まえたデータベースの構築、水質予測モデルの構築、政策立案のための評価手法の開発着手、ワークショップ等を実施する。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの途上国が、人口増加・都市化・低炭素化等を総合的に考慮した自国内の排水管理・水質保全政策を進めるための情報整備・政策評価手法の提供を行う。またこれにより、途上国における政策立案・実施能力の向上を図る。</li> </ul> | 135      |
| (26) | 放射性物質による水質汚濁状況の常時監視<br>(平成26年度)        | - | - | 118<br>(80) | 92 | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境中の放射性物質による水質汚濁の状況を常時監視するため、公共用水域及び地下水において、水質等の放射性物質の測定を実施、結果をとりまとめ公表する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共用水域及び地下水について、それぞれ全国110地点規模のモニタリング調査を実施し、その結果を公表する。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境中の放射性物質の存在状況を把握することにより、水環境の保全施策の推進に寄与する。</li> </ul>   | 136      |
| (27) | 硝酸性窒素に関する地域総合対策制度推進費<br>(平成26年度)       | - | - | 7<br>(7)    | 7  | - | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硝酸性窒素等による地下水汚染が広域的に継続している状況に対応するため、各地域において最適な施策メニューの組み合わせによる総合的な対策を推進する制度を構築し、実施する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硝酸性窒素等による地下水汚染に対応するための地域総合対策制度案の検討</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硝酸性窒素等による地下水汚染を解消することにより、水環境の保全を図る。</li> </ul>  | 137      |
|      | 沿岸域環境改善技術評価事業<br>(平成27年度)              | - | - | -           | 50 |   | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に実用化されて沿岸域環境改善技術等について情報収集・整理し、モデル海域における実証試験、水質等調査、シミュレーションモデル等を併せて実施することにより、各海域に適した環境改善技術を提案する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的・効率的な沿岸域の環境改善技術の提案</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各海域に適した効果的・効率的な環境改善技術を提案することにより、閉鎖性海域の環境改善に寄与する。</li> </ul>   | 新27-0013 |
|      | 水質関連システムの移行開発経費<br>(平成27年度)            | - | - | -           | 30 |   | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水質関連システム」について、平成28年度からの本格運用を目指し、政府共通プラットフォームへ全面移行する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のシステム及びデータを政府共通PFへ移行させる。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存システムを政府共通PFに移行することにより、一元的な運営管理を行うことで、運用コストの削減や情報セキュリティ対策の向上に寄与する。</li> </ul>  | 新27-0015 |
|      | 地下浸透規制制度最適化のための検討調査費<br>(平成27年度)       | - | - | -           | 9  |   | <p>&lt;達成手段の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下浸透基準が設定されている有害物質29項目についての科学的知見を収集・整理し、検証を行い、必要に応じて個々の地下浸透基準の改定案を策定する。</li> </ul> <p>&lt;達成手段の目標(27年度)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下浸透規制制度の改善を促進する。</li> </ul> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下浸透規制制度の最適化を図る事は、健全な水環境の保全に資する。</li> </ul>   | 新27-0016 |

|   |  |  |  |            |   |  |                 |
|---|--|--|--|------------|---|--|-----------------|
| <p>健全な水循環に係る総合<br/>対策推進費<br/>(平成27年度)</p> |  |  |  | <p>113</p> | <p>1.2.3</p>                              | <p>&lt;達成手段の概要&gt;<br/>         ・気候変動が湖沼の水質等に与える影響について、モデル湖沼におけるシミュレーションによる定量的な影響予測及び評価し、その影響に対する適応策を取りまとめる。<br/>         ・民間の主体的・自発的取組の促進と官民連携の機会の場を創出する官民連携事業を推進する。<br/>         ・現在、未規制であり潜在的なリスクを抱える化学物質について、工場・事業場からの排出実態の把握及び公共用水域における存在状況の把握を通じ水環境におけるリスク方策について検討を行う。<br/>         &lt;達成手段の目標(27年度)&gt;<br/>         ・気候変動によるモデル湖沼の水質・生態系への影響予測および適応策の検討を行う。<br/>         ・水環境に係わる官民連携の機会の場を創出する官民連携事業を実施する。<br/>         ・浄水処理対応困難物質(H26年度 厚労省通知,14項目)を対象とし、各物質のリスク情報を整理し、リスク方策の検討を行う。<br/>         &lt;政策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の概要&gt;<br/>         ・気候変動が水質及び生態系に与える影響を適切に把握し、将来の気候変動に伴い想定される影響に対して適切な適応策を講じることにより、水環境の保全に寄与する。<br/>         ・民間の主体的・自発的取組の推進と官民連携の機会の場の創出により、国民が水環境の重要性について意識を高めることに寄与する。<br/>         ・水質汚濁防止法の指定物質への追加の必要性について検討し、事業所及び自治体におけるリスク管理体制の推進に寄与する。</p> | <p>新27-0017</p> |
| <p>施策の予算額・執行額</p>                         |  |  |  |            | <p>施策に関する内閣の重要政策<br/>(施政方針演説等のうち主なもの)</p> |  |                 |



1 閉鎖性海域における水質環境基準の達成率(COD、全窒素、全りん)

| 測定指標   | 基準値  |      | 目標値  |      | 年度ごとの目標値  |           |      |      |      |   |   |
|--|------|------|------|------|-----------|-----------|------|------|------|---|---|
|  | 基準年度 | 目標年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度      | 27年度      | 28年度 | 29年度 | 30年度 |   |   |
| 瀬戸内海(大阪湾を除く)における水質環境基準の達成率(%)(上段:COD、下段:全窒素・全りん) | —    | —    | 100  | —    | —         | —         | —    | —    | —    | — | — |
|  |      |      | 100  | —    | 79<br>98  | 77<br>98  | 調査中  |      |      |   |   |
| 大阪湾における水質環境基準の達成率(%)(上段:COD、下段:全窒素・全りん)          | —    | —    | 100  | —    | —         | —         | —    | —    | —    | — | — |
|  |      |      | 100  | —    | 67<br>100 | 67<br>100 | 調査中  |      |      |   |   |
| 東京湾における水質環境基準の達成率(%)(上段:COD、下段:全窒素・全りん)          | —    | —    | 100  | —    | —         | —         | —    | —    | —    | — | — |
|  |      |      | 100  | —    | 63<br>83  | 63<br>83  | 調査中  |      |      |   |   |
| 伊勢湾における水質環境基準の達成率(%)(上段:COD、下段:全窒素・全りん)          | —    | —    | 100  | —    | —         | —         | —    | —    | —    | — | — |
|  |      |      | 100  | —    | 56<br>57  | 56<br>86  | 調査中  |      |      |   |   |
| 赤潮の発生件数(瀬戸内海・有明海・八代海の順)[件]                       | —    | —    | —    | —    | —         | —         | —    | —    | —    | — | — |
|  |      |      | —    | —    | 116/44/16 | 83/40/16  | 調査中  |      |      |   |   |